

第三十四回現代俳句新人賞受賞作品

命を運ぶ

赤野四羽

真つ青な海に倫理が滴れり

鉄線花譲るべからず濡れ歩け

油照兵士は壁と壁になる

水浸しの紫陽花父盲いたり

侮辱せよ真白い夏服に着替え

百合の木や生は沈黙ならざりき

神のみが水母正しくおそれけり

ページ繰る音の軽くて秋の蛇

あらばしり幸福語らしめる夜

失われたものは還らぬ山葡萄

ゆるゆると歩め鶴は遅れくる

悔しきのような病や銀杏散る

熟したるおとが零れる星月夜

茄子の馬とうとう姉の夜がきた

少しだけ約束してよ虫籠に

月を知る鳥は夜には従わぬ

毛皮きて少女はきんいろに濡れる

雪女祝うひかりの濃い淡い

誠実に鮑の毘は降りてくる

吸殻のようなからだで鮓食う

もう何度ストラップの熊よみがえる

短日や視線たがいに縛りあう

君だけの時間にもまた雪が降る

悦楽や凍蝶重なりあわず落つ

掘りつづけ枯野の果ての自由かな

あまい指からだのなかに遠蛙

下萌や昏いところにある兆し

意志はさして飛んでいくのか蜆汁

永き日に肩甲骨のみぎひだり

ホットドッグ頬張り赤い花種蒔く